



嗜文想馳







はじめましてこんにちわ!  
ゴンざぶろーと申します。

今回はちょっと趣向を変えてみましたw

つたない本ですが  
最後までお付き合いくださいませ～



ここはいつもの  
神社ー



ーの  
裏手



あむ!?

人が来たら

少し渋り気味の霊夢の口に  
強引に口付けすると



あ…やん

男は服の上から  
胸を揉みだす



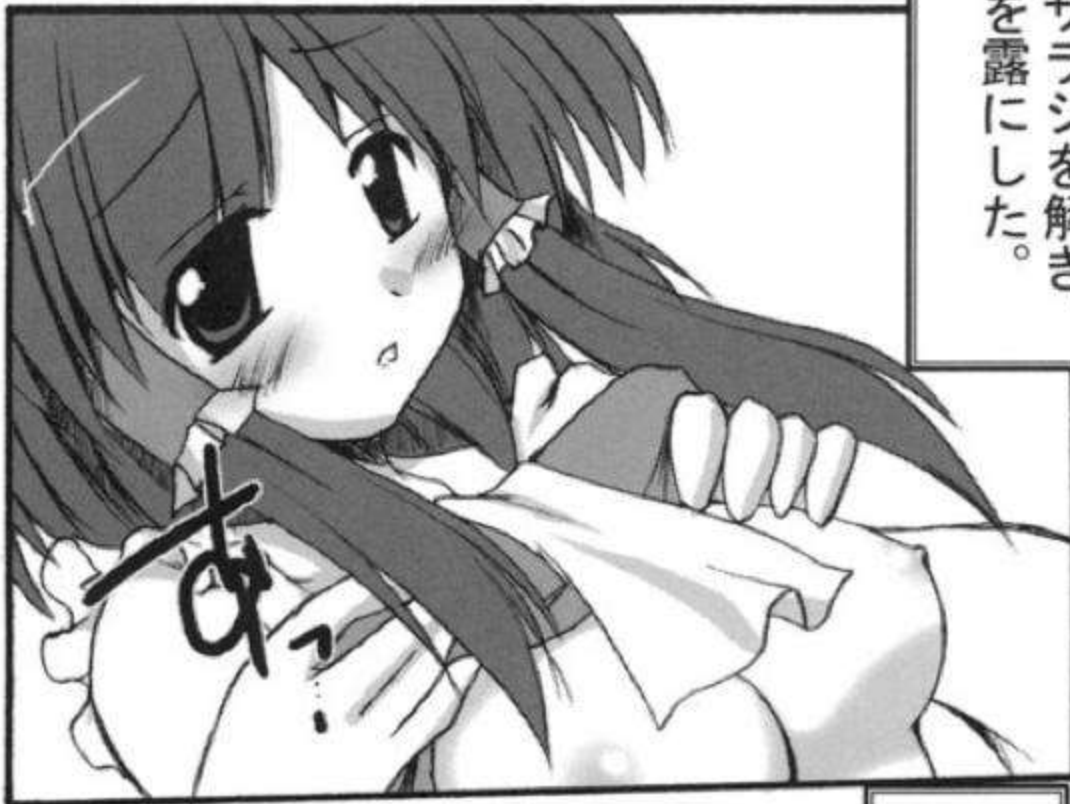
ーちよっとまた  
こんな所でするの？







観念したように言うと  
霊夢は自らサラシを解き、  
形の良い胸を露にした。



乳房全体を  
ゆっくりと揉んでいき、



男は胸に手を置くと

あ…っ



膨らみ始めた乳首を  
軽く摘まんでいく。



—そのまま男は  
乳首を吸い—



ひあ...あん  
あああ...っ



舌でなめ回し、  
唇で軽く挟むと  
霊夢は身体を震わせ—



あ...あッ



ひゃんっ!?



息を漏らす霊夢の前に  
男は己のモノを  
さらけ出す

じゃ、次は  
こっちも  
お願いするよ



力が抜けたように  
その場に  
座り込んでしまった

はっ...はあ



浚々という感じながらも  
霊夢は男のモノを  
優しく握りー

龟头から根元にかけて  
ゆっくりと全体を  
舐めていく。

もう…本当に  
強引なんだから

霊夢は男のモノを  
のどの奥まで  
飲み込んでいった。

ははっ…ん

カ  
ッ  
ッ





んっ…んん

んっ…んん

ゆっくりと顔を上下させて  
口で扱いていくと  
男のモノは  
びくびくとし始め—

ふう…っん

そのまま霊夢の口の中へと  
射精してしまおう

んっ…んん

苦しくないながらも  
霊夢はそれを  
こくこくと  
飲み下し—

んっ…んん

全てを飲み込むと  
男のモノを  
口から放し  
軽く息を吐く—

っ…ん  
もう…ちよっと  
出すぎじゃない？





とっ



いじり…

や…ちよ  
こんな格好…

男は霊夢を後ろ向きにすると  
一気にスカートをたくし上げ、  
きゅっと引き締まったお尻を  
晒す。



とっ

ひあ!?

男が露になった秘部に  
指を押し当てると、  
すでに湿り気を帯びているそこは  
いやらしい音をたてる



すごいな…  
ここ

くちゅっ…



指をこすらせる度に  
霊夢の秘部は濡れていき  
身体を震えさせる

あ  
あ  
あ

せりっ

せりっ

撫でていた指を  
秘部へ入れると  
霊夢は感極まった声をあげー

え  
あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

く  
あ  
あ

霊夢の中を  
指が往復すること  
腰がひくひくと  
反応していくー

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

せりっ

せりっ

あ  
あ  
あ



指を引き抜くと  
十分に濡れている秘部からは  
愛液が零れ落ちるー

んあや

あや

男はそのそこへ  
己のモノを押し当てると  
一気に挿入するー

くあ

あま

かいのあ

あ

あ

あ

突然に、  
だがスムーズに男のモノを  
咥えこみ  
霊夢の身体は一層  
びくびくと震え出す

ああ

あ

あ





男のものが霊夢の膣内を  
出入りする度に  
霊夢は切ない声を上げ  
腰が自然と動いていく

動きが強くなるほどに  
快感も増していき  
意思とは関係なく霊夢の秘部は  
男のものを  
いやらしく締めつける





男は後ろから霊夢の身体を  
抱えると胸を掴み、  
より深く腰を押し込んでゆく

更に片方の手で  
完全に膨らんだ  
霊夢の秘芽を  
こすり上げるとー

一段と大きな快感と共に  
霊夢の秘部は  
男のモノを締め上げるー

男が激しく  
腰を押し付けると  
霊夢の身体の中を  
ゾクゾクと  
快感が駆け上りー



男が射精するのと  
同時に霊夢も  
絶頂を迎えた

おおお  
おおお  
おお

男が己のモノを  
引き抜くと  
霊夢の秘部からは  
出したばかりの  
精液が  
溢れ出したのだったー

は…あ

ああ…





…なっ

わな  
わな



あらあら

なんじゃじゃじゃ!!  
あゝ  
ん



えっ!!!?  
違いますよ!

びん

あん?

ル



アレは一体  
何なのよ!?

あら? 私は只  
鴉天狗に頼まれた  
だけよ?

おま  
ま



アタシは只  
次回の天狗仲間の  
新聞大会で勝つ為に

どうすればいいか  
紫様が  
いい案があるからって  
言われて













最近は平和で  
たいしたネタが  
集まらないのですよ



ううだって…

アンタもアンタで  
何でこんな話に  
乗るのよ？



だったら  
今までの私の  
武勇伝を綴った  
物語でも書いたら？

ええそんなの  
つまらないわ

そうですねよ  
そんな期限切れの  
内容はいりません



あー、  
それじゃあ

いっしょ…

今回の文章を  
実践すれば  
スクープには…

んー確かに  
艶話なら…

**絶対**  
**やらないわよ！**



次からは穴埋めオマケ漫画です  
←









「や…あ、そこ、は…」

「咲夜はエッチだね。お尻を弄られて  
感じているなんて…」

「ああ…そ…んな…」と…」

お尻に異物を入れられながらも  
咲夜の秘部からは  
止め処もなく愛液を  
流しているのだった…

なっ！案って

前に  
言ってた  
でしょう？







どくっ…びゅ…

何度目かの射精を男が終える…

「ふふ…まだまだ元気ね…  
あの精力剤、ちよっと強くしすぎたかしらw」

妖しく永琳は微笑むと  
再び男のモノを銜え込んだ腰を  
動かし始めた

うわあ…



後書き…



ゴンざぶろーです。  
最後までお付き合いくださり  
誠にありがとうございます！

さて今回の本は  
如何だったでしょうか？

一応、紫が書いた文章ということで  
本文中ちらほらと怪文章を散らばらせてみたのですが

…正直邪魔なだけになってしまいましたね… orz

元々が文章能力皆無のくせに  
文章ネタで描こうとしたのが無謀でした…

何気にあの怪文章考えるのにいつもの数倍じかん掛かってるし…

そんな未熟な本ですが  
少しでも気に入ってくだされば幸いです。

それでは、そろそろ入稿準備をしなければいけないので  
これにて失礼します。

またどこかでお見かけしましたら  
どうぞよろしくお願いします♪

2006/12 ゴンざぶろー





奥付

発行日：2006/12/31  
発行：有言実行  
発行人：ゴンざぶろー  
印刷所：大陽出版様

※本誌内容の一部、もしくはすべてを無断転載することを禁止します。  
※18歳未満のかたのご閲覧、ご購入は禁止です。

Eメール：ukizaru@hotmail.co.jp

サークルHP：<http://yugen.home.dyndns.org/>





Presented by

有言実行

FOR ADULT ONLY